

大学院環境科学院 オープンキャンパス 2023

8/6(日) 9:00~16:00

先着順！下記サイトから事前申込をして受講証を入手しよう！

⇒ <https://www.ocans.jp/hokudai?fid=HKTqR1S1>



環境科学をもっと知りたい！

8月6日(日)の講演内容 (D-201講義室)先着100名
★詳細は裏面

- ◆10:00~10:50 「変わりゆく北海道の鳥たち」
(准教授 先崎理之)
- ◆11:00~11:50 「身の回りの光るモノ～信号・テレビ・サイリウム・ホタルが光るしくみ」
(准教授 山田幸司)
- ◆13:00~13:50 「哺乳類の冬眠の不思議～ 過去・現在・未来」(教授 山口 良文)
- ◆14:00~14:50 「古気候アドベンチャー：過去の地球を探索して未来を知る」(准教授 関 幸)

環境科学院ってどんなところ？

- ラボツアー実施！9:00~/15:00~ (先着各50名)
- 学院紹介ビデオを正面玄関ホールで上映！



身の回りの光るモノ



変わりゆく
北海道の鳥たち



昨年の講義の様子



哺乳類の冬眠の不思議



北海道大学 大学院 環境科学院
<http://www.ees.hokudai.ac.jp/>

正門および北12条駅から徒歩5分
(札幌市北区北10条西5丁目)

8月6日(日)の講演内容

◆10:00~10:50 「変わりゆく北海道の鳥たち」(准教授 先崎理之)

北海道ではこれまで470種類以上の鳥類の記録があります。これらの中には行内での分布や繁殖地。越冬地がほとんど北海道に限定される種類も多く含まれます。しかし国内外の他地域と同様に過去数十年の間でも減ってしまった種や逆によく見られるようになった種があり、その鳥類相には確実な変化が見られます。本講義では北海道の鳥類相の特徴や保全活動についての最近の動向をまじえてお話しします。

◆11:00~11:50 「身の回りの光るモノ～信号・テレビ・サイリウム・ホタルが光るしくみ」(准教授 山田幸司)

私たちの身の回りには、電気エネルギーや化学エネルギーを光エネルギーに変えるエレクトロルミネッセンス材料や化学(生物)発光材料が多く使われています。この講義では、LEDや有機EL、サイリウムやホタルルシフェラーゼなどの材料がどのような性質を持つ材料か説明し、信号・テレビ・サイリウム・ホタルなどがどうして光るのかを解説します。

◆13:00~13:50 「哺乳類の冬眠の不思議 ～ 過去・現在・未来」(教授 山口 良文)

動物にとって食料の枯渇しがちな冬季をどう乗り切るかは切実な問題です。一部の哺乳類は、冬季生存戦略として、体温が10度以下という極端な低体温となって動かない状態になる冬眠を行います。私たちヒトを含む哺乳類の多くは、体温が37℃付近に設定されておりそこから大きく低下すると死んでしまうことを考えると、とても不思議な驚くべき現象です。本講義では哺乳類の冬眠のしくみについて、これまでに何がわかってきていて、これから何を明らかにしていけばいいのか、最先端の研究をまじえて紹介します。

◆14:00~14:50 「古気候アドベンチャー:過去の地球を探索して未来を知る」(准教授 関 幸)

この講義では、過去にタイムスリップし、地球の気候変動について学ぶことで、現代の地球温暖化問題に対する理解を深めます。さらに、将来の気候変動がどのようになるかについても探求します。中高生や一般の方にも分かりやすく興味深い内容をお届けしますので、過去そして未来の気候変動に関心がある方はぜひご参加ください。



★私たちが住んでいる地球は、いま・・・

地球温暖化、オゾン層破壊、生物多様性の減少、森林破壊、有害化学物質の拡散、資源の枯渇など人類共通の問題に直面しています。このような問題を解決し、持続可能な環境を維持するためにはサイエンスの力と人々の英知を結集することが必要です。

「環境科学院」は自然科学に基礎を置き地球環境が抱える様々な課題に取り組む研究者および高度専門職業人を養成するために設立された4つの専攻からなる大学院です。



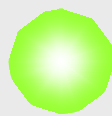
環境起学専攻

様々な専門領域の学問を基礎とし、それらを統合した形でなければ解決できない地球規模から微視的なスケールの環境問題の解明と、その解決のための教育・研究を行なっています。



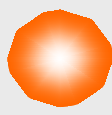
地球圏科学専攻

地球環境の変化・変動や気候変動の実態とその機構を解明し、将来予測を行い、環境・気候変動がもたらす影響を評価するための教育・研究を行なっています。



生物圏科学専攻

生物多様性の維持・創出メカニズムを解明し、自然・人為環境変化に対する生態系の応答と、生態系間の相互作用を理解するための教育・研究を行なっています。



環境物質科学専攻

環境問題を化学物質の側面からとらえ、化学物質の分布や作用を調べるとともに環境浄化や保全のための新たな手法に関する教育・研究を行なっています。